

平成24年度 e・アンケートモニター
第4回アンケート NO.1 調査結果

テーマ「動物愛護管理の推進に向けた取組について」

I 調査の概要

1 調査の目的

現在、国民の約3分の1がペット動物を飼養し、犬及びねこの飼養数は約2千万頭に上っており、少子高齢化の進展とともに、今後ますます、人と動物との関わりは重要になると考えられています。

県では、平成20年に、人と動物との調和のとれた快適な暮らしづくりを進めていくための具体的な計画として「山口県動物愛護管理推進計画」を策定し、動物の愛護と適正飼養の啓発に関する諸事業に取り組んでいます。

このたび、動物愛護管理の推進に関する御意見を伺い、今後の推進計画の改定に当たっての基礎資料とさせていただくため、調査を実施します。

2 調査実施期間

平成25年1月16日(水)～1月30日(水)

3 調査対象

平成24年度 e・アンケートモニター 120人

4 回答状況

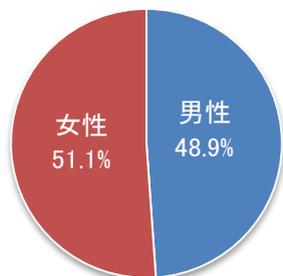
回答者 90人(回答率 75.0%)

5 調査担当課

山口県環境生活部生活衛生課

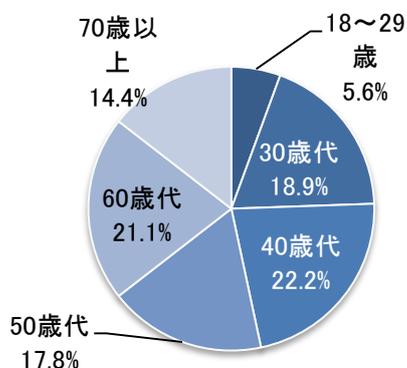
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	44	48.9
女性	46	51.1
計	90	100.0

■年代別



区分	人数	%
18～29歳	5	5.6
30歳代	17	18.9
40歳代	20	22.2
50歳代	16	17.8
60歳代	19	21.1
70歳以上	13	14.4
計	90	100.0

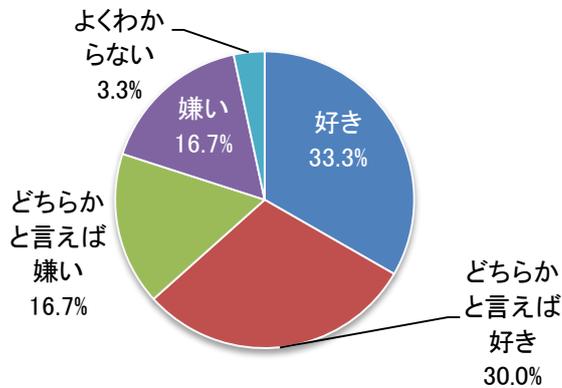
※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

※各表の「N」は、各質問の回答者数です。

Ⅲ 調査結果

1 ペット動物の飼育状況について

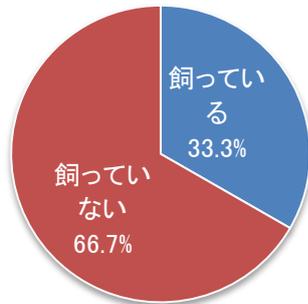
Q1 あなたは、ペット動物を飼うのが好きですか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
好き	30	33.3
どちらかと言えば好き	27	30.0
どちらかと言えば嫌い	15	16.7
嫌い	15	16.7
よくわからない	3	3.3

(N=90)

Q2 あなたやあなたの家族がペット動物を飼っていますか。(1つのみ)

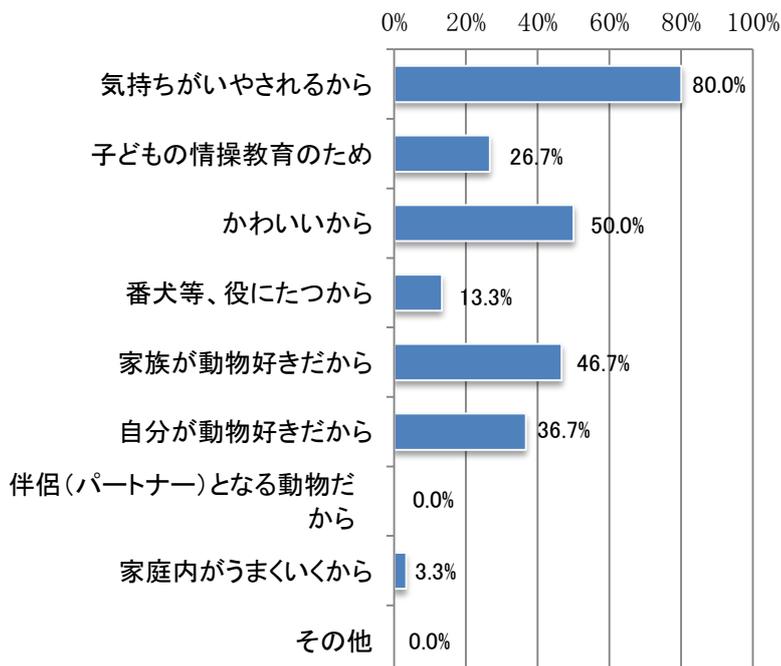


選択肢	人数	%
飼っている	30	33.3
飼っていない	60	66.7

(N=90)

【Q2で「飼っている」と答えた方に】

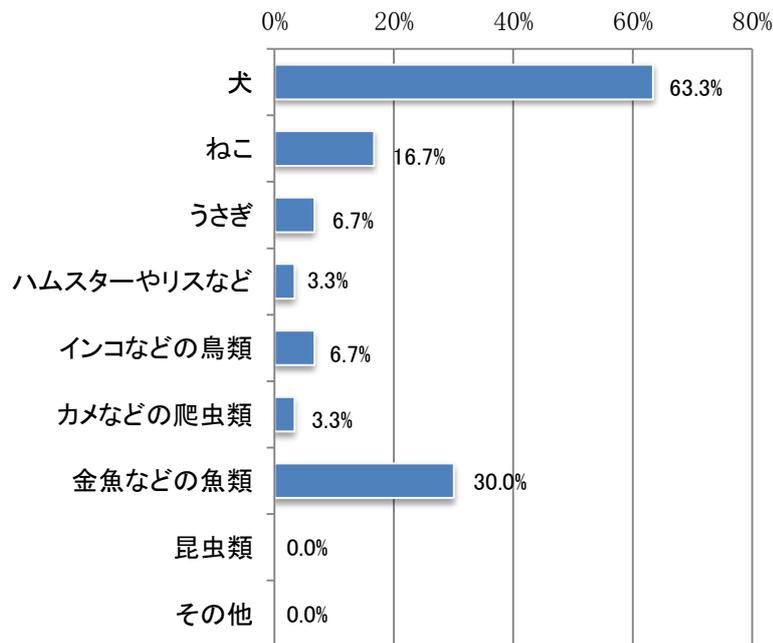
Q3 ペット動物を飼っている理由はなんですか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
気持ちがいやされるから	24	80.0
子どもの情操教育のため	8	26.7
かわいいから	15	50.0
番犬等、役に立つから	4	13.3
家族が動物好きだから	14	46.7
自分が動物好きだから	11	36.7
伴侶(パートナー)となる動物だから	0	0.0
家庭内がうまくいくから	1	3.3
その他	0	0.0

(N=30 複数回答)

Q 4 どのようなペット動物を飼っていますか。(いくつでも)

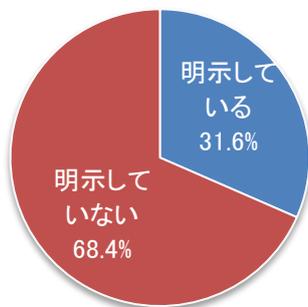


選択肢	人数	%
犬	19	63.3
ねこ	5	16.7
うさぎ	2	6.7
ハムスターやリスなど	1	3.3
インコなどの鳥類	2	6.7
カメなどの爬虫類	1	3.3
金魚などの魚類	9	30.0
昆虫類	0	0.0
その他	0	0.0

(N=30 複数回答)

【Q 4で「犬」を飼っていると答えた方に】

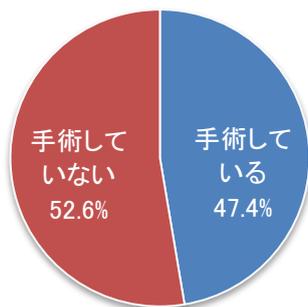
Q 5 飼っている犬に、名札や首輪、マイクロチップなどを装着し、飼主の氏名や住所などが分かるように明示していますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
明示している	6	31.6
明示していない	13	68.4

(N=19)

Q 6 飼育している犬は、去勢または不妊の手術を行っていますか。(1つのみ)

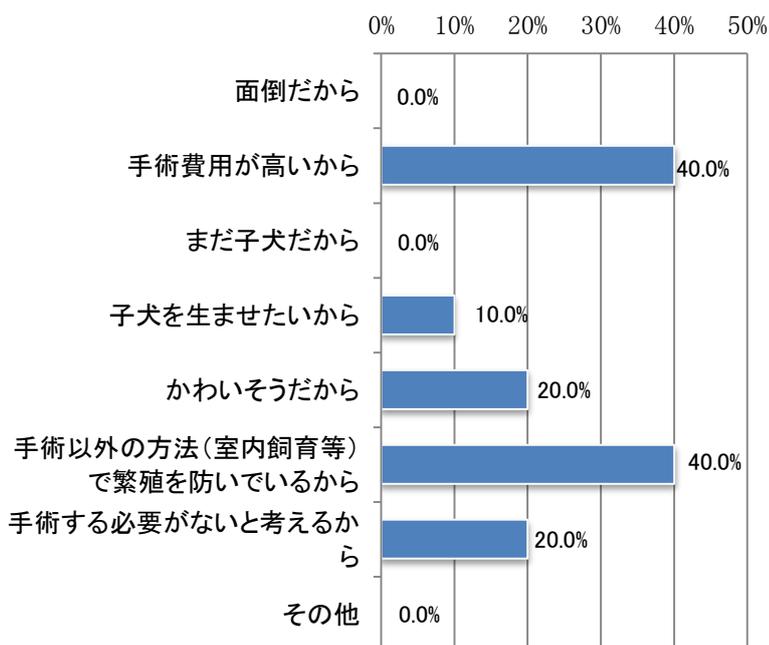


選択肢	人数	%
手術している	9	47.4
手術していない	10	52.6

(N=19)

【Q6で「手術していない」と答えた方に】

Q7 去勢または不妊の手術をしない理由は何ですか。(いくつでも)

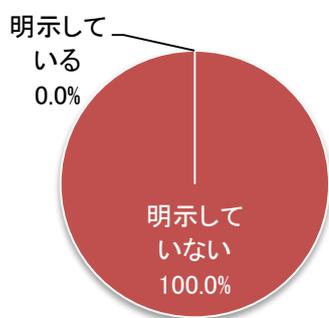


選択肢	人数	%
面倒だから	0	0.0
手術費用が高いから	4	40.0
まだ子犬だから	0	0.0
子犬を生ませたいから	1	10.0
かわいそうだから	2	20.0
手術以外の方法(室内飼育等)で繁殖を防いでいるから	4	40.0
手術する必要があると考えるから	2	20.0
その他	0	0.0

(N=10 複数回答)

【Q4で「ねこ」を飼っていると答えた方に】

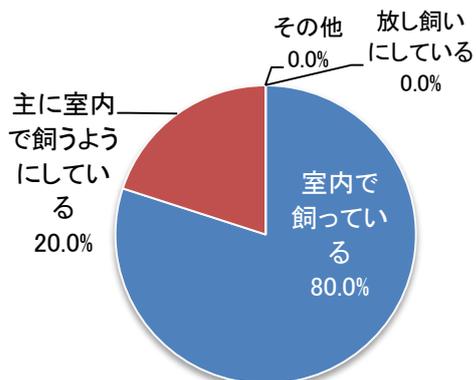
Q8 飼っているねこに、名札や首輪、マイクロチップなどを装着し、飼主の氏名や住所などがわかるように明示していますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
明示している	0	0.0
明示していない	5	100.0

(N=5)

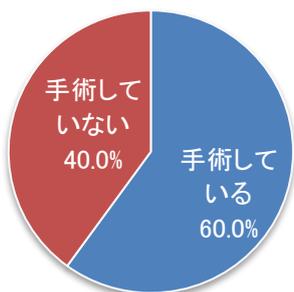
Q9 ねこは、どのように飼っていますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
室内で飼っている	4	80.0
主に室内で飼うようにしている	1	20.0
放し飼いにしている	0	0.0
その他	0	0.0

(N=5)

Q10 飼育しているねこは、去勢または不妊の手術を行っていますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
手術している	3	60.0
手術していない	2	40.0

(N=5)

【Q10で「手術していない」と答えた方に】

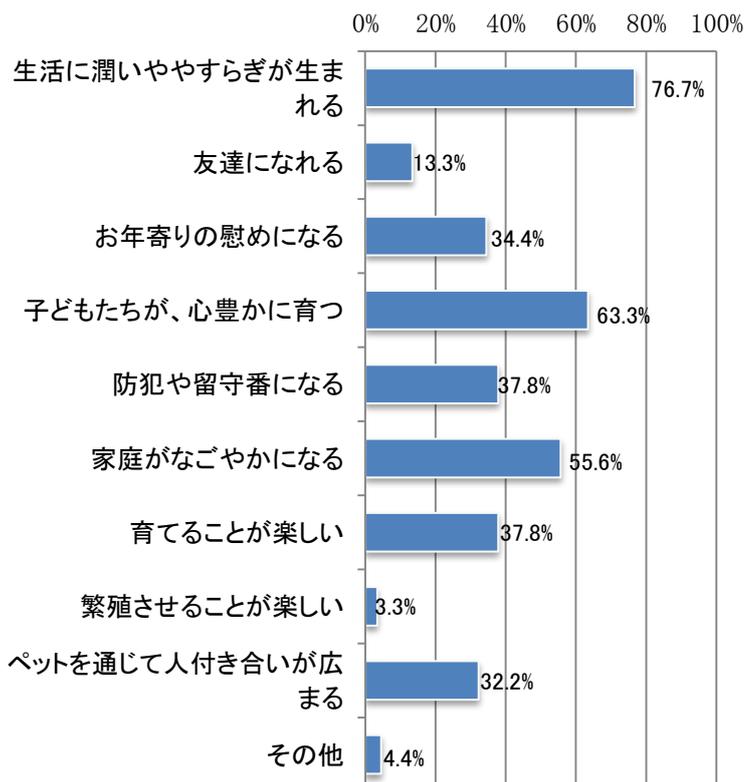
Q11 去勢または不妊の手術をしない理由は何ですか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
面倒だから	0	0.0
手術費用が高いから	0	0.0
まだ子ねこだから	1	50.0
子ねこを生ませたいから	0	0.0
かわいそうだから	0	0.0
手術以外の方法(室内飼育等)で繁殖を防いでいるから	0	0.0
手術する必要がないと考えるから	1	50.0
その他	0	0.0

(N=2 複数回答)

2 ペット動物飼育に関する意識について

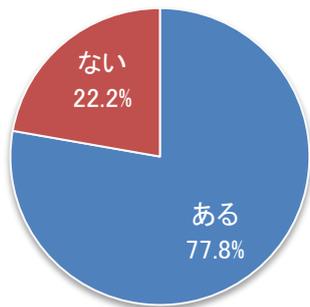
Q12 あなたは、ペット動物を飼うことによって、どのようなよいことがあると思いますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
生活に潤いややすらぎが生まれる	69	76.7
友達になれる	12	13.3
お年寄りの慰めになる	31	34.4
子どもたちが、心豊かに育つ	57	63.3
防犯や留守番になる	34	37.8
家庭がなごやかになる	50	55.6
育てることが楽しい	34	37.8
繁殖させることが楽しい	3	3.3
ペットを通じて人付き合いが広がる	29	32.2
その他	4	4.4

(N=90)

Q13 あなたは、他人がペット動物を飼っていることによって、迷惑を感じたことがありますか。(1つのみ)

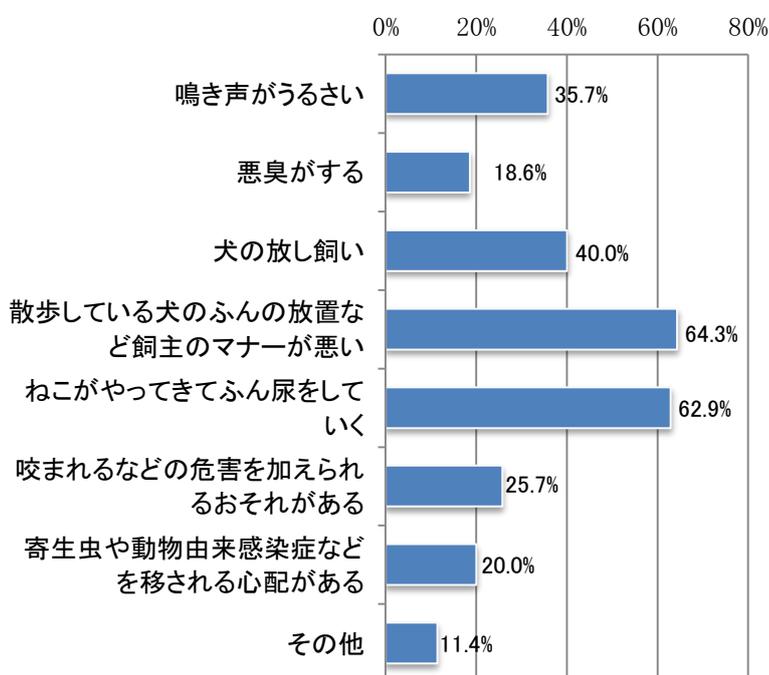


選択肢	人数	%
ある	70	77.8
ない	20	22.2

(N=90)

【Q13で「ある」と答えた方に】

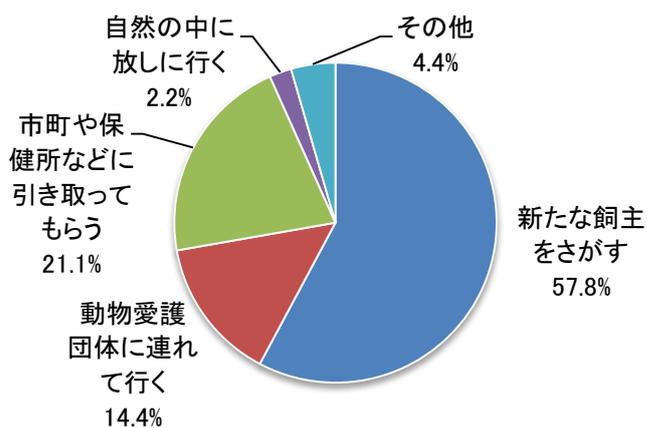
Q14 どのようなことに迷惑を感じますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
鳴き声がうるさい	25	35.7
悪臭がする	13	18.6
犬の放し飼い	28	40.0
散歩している犬のふんの放置など飼主のマナーが悪い	45	64.3
ねこがやってきてふん尿をしていく	44	62.9
咬まれるなどの危害を加えられるおそれがある	18	25.7
寄生虫や動物由来感染症などを移される心配がある	14	20.0
その他	8	11.4

(N=70 複数回答)

Q15 家庭で飼っている犬やねこなどが、いろいろな事情で飼えなくなった場合、あなたはどのようにするのがよいと思いますか。(1つのみ)

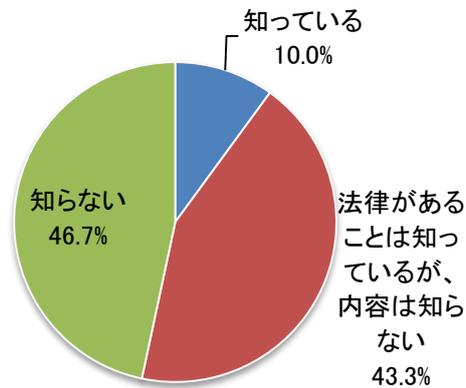


選択肢	人数	%
新たな飼主をさがす	52	57.8
動物愛護団体に連れて行く	13	14.4
市町や保健所などに引き取ってもらう	19	21.1
自然の中に放しに行く	2	2.2
その他	4	4.4

(N=90)

3 動物愛護管理施策の推進について

Q 1 6 「動物の愛護及び管理に関する法律」（動物愛護と動物の望ましい飼い方について定めた法律）がありますが、あなたはこの法律を知っていますか。（1つのみ）

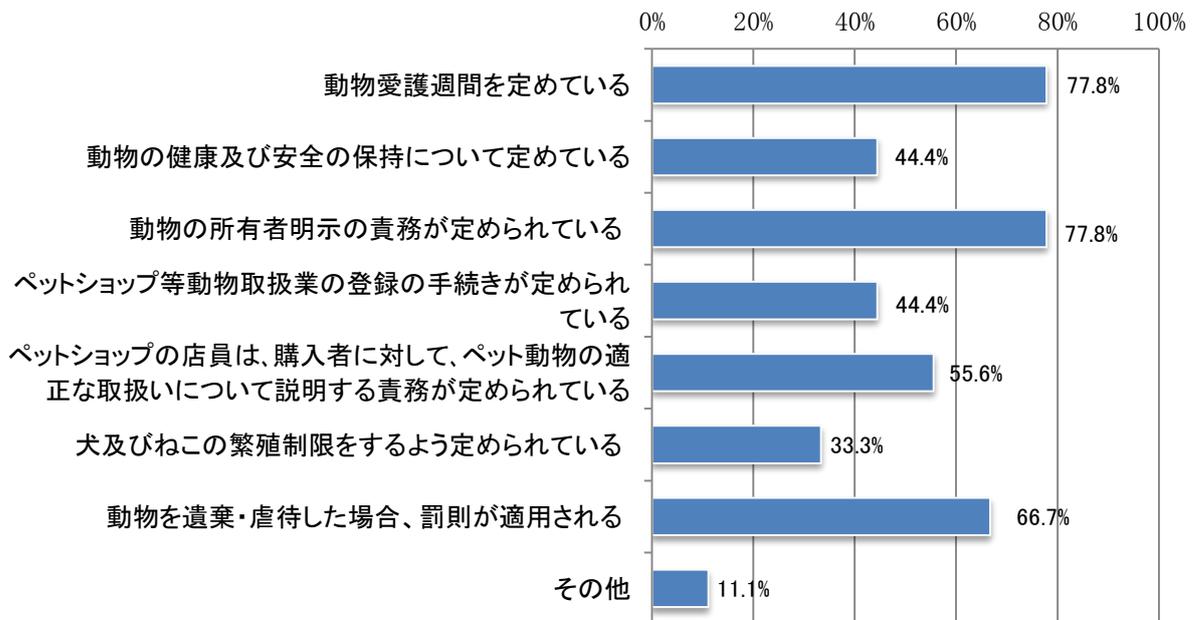


選択肢	人数	%
知っている	9	10.0
法律があることは知っているが、内容は知らない	39	43.3
知らない	42	46.7

(N=90)

【Q 1 6で「知っている」と回答された方に】

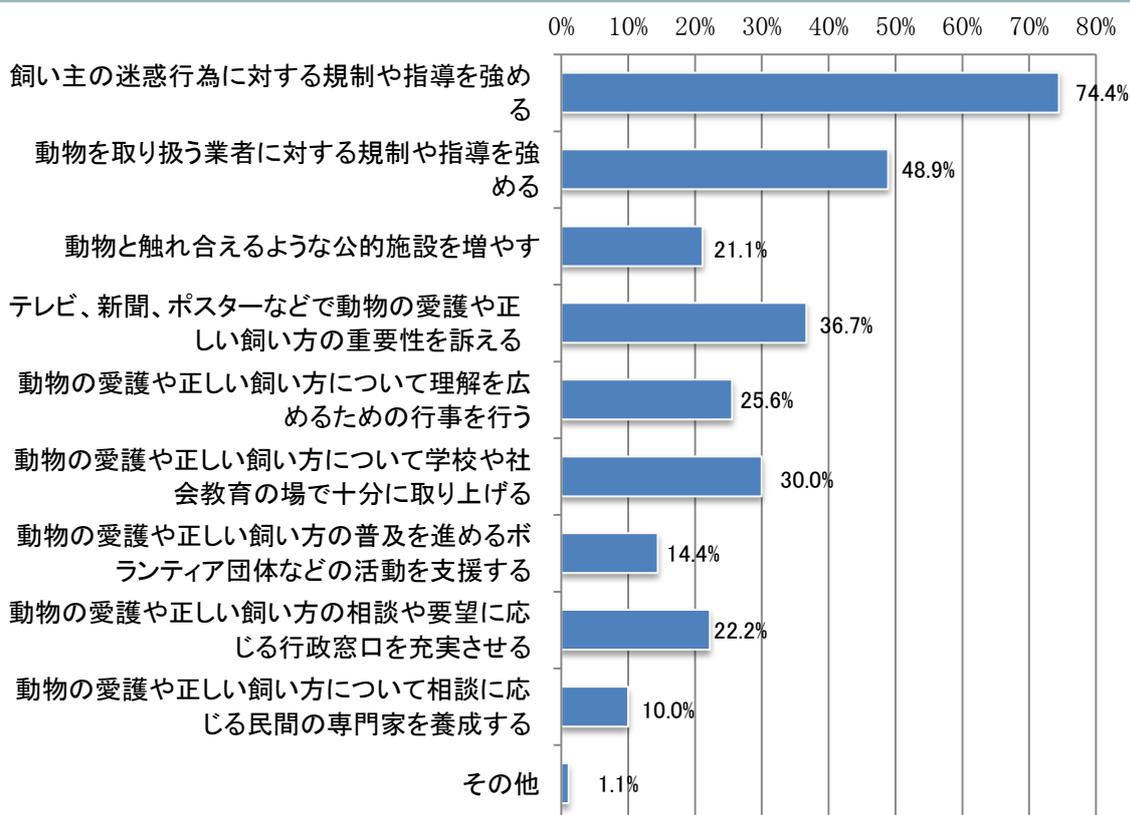
Q 1 7 知っている内容を次の中からあげてください。（いくつでも）



選択肢	人数	%
動物愛護週間を定めている	7	77.8
動物の健康及び安全の保持について定めている	4	44.4
動物の所有者明示の責務が定められている	7	77.8
ペットショップ等動物取扱業の登録の手続きが定められている	4	44.4
ペットショップの店員は、購入者に対して、ペット動物の適正な取扱いについて説明する責務が定められている	5	55.6
犬及びねこの繁殖制限をするよう定められている	3	33.3
動物を遺棄・虐待した場合、罰則が適用される	6	66.7
その他	1	11.1

(N=9 複数回答)

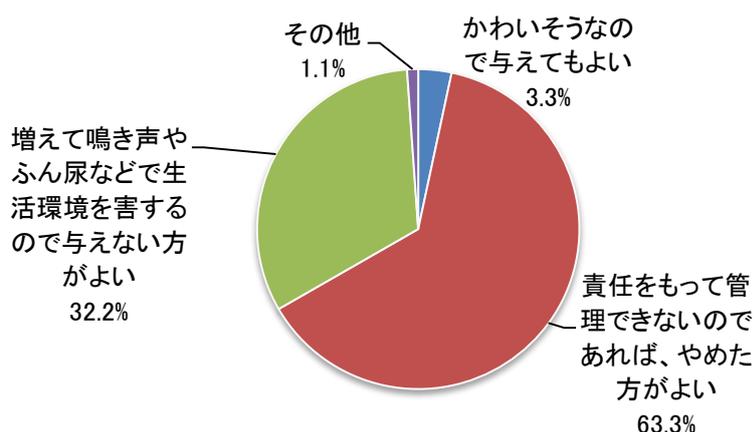
Q 1 8 あなたは、動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。(3つまで)



選択肢	人数	%
飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める	67	74.4
動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める	44	48.9
動物と触れ合えるような公的施設を増やす	19	21.1
テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える	33	36.7
動物の愛護や正しい飼い方について理解を広めるための行事を行う	23	25.6
動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる	27	30.0
動物の愛護や正しい飼い方の普及を進めるボランティア団体などの活動を支援する	13	14.4
動物の愛護や正しい飼い方の相談や要望に応じる行政窓口を充実させる	20	22.2
動物の愛護や正しい飼い方について相談に応じる民間の専門家を養成する	9	10.0
その他	1	1.1

(N=90 複数回答)

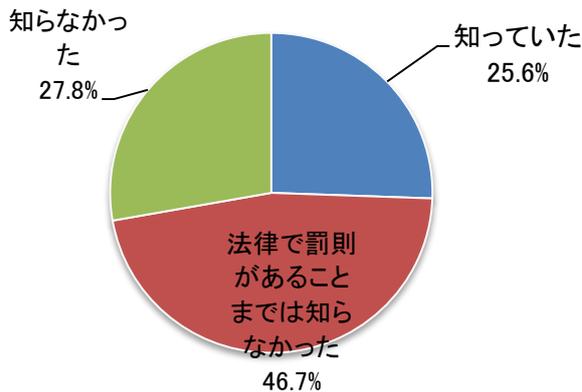
Q 1 9 あなたは、野良ねこに餌を与えることについて、どのように考えますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
かわいそうなので与えてもよい	3	3.3
責任をもって管理できないのであれば、やめた方がよい	57	63.3
増えて鳴き声やふん尿などで生活環境を害するので与えない方がよい	29	32.2
その他	1	1.1

(N=90)

Q20 あなたは、動物を捨てることや飼育放棄などの行為は、「動物の愛護及び管理に関する法律」により、罰金刑のある犯罪行為であることを知っていますか。(1つのみ)

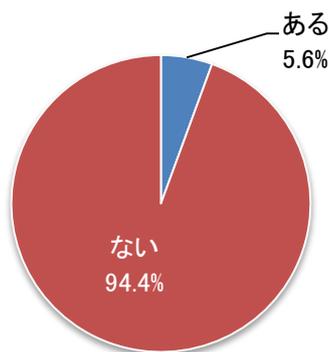


選択肢	人数	%
知っていた	23	25.6
捨てるのは許されない行為だと思っていたが、法律で罰則があることまでは知らなかった	42	46.7
知らなかった	25	27.8

(N=90)

4 動物取扱業者について

Q21 ペット動物を取り扱う業者には、ペットショップ、ペットホテル、ペット美容院、動物園などがあります。あなたは、これまでこれらの業者から被害を受けたり、トラブルや不快な思いをしたことがありますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
ある	5	5.6
ない	85	94.4

(N=90)

【Q21で「ある」と答えた方に】

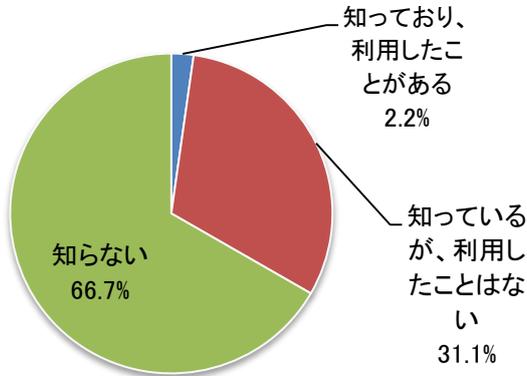
Q22 どのようなことがありましたか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
動物のふん尿の臭いがひどい、鳴き声がうるさい、ハエ・ゴキブリが発生するなどの影響があった	2	40.0
劣悪な環境(施設が狭い、汚れて不衛生など)で動物が飼われているのを見たことがある	2	40.0
病気やケガをした動物が展示されていた	1	20.0
ペットショップから購入したばかりの動物が死んだり、病気になった	3	60.0
動物の飼い方について、ペットショップの店員の説明が不適切であった	0	0.0
ペットホテルやペット美容院に預けていた動物が死んだり、病気になったり、ノミ・ダニを移された	0	0.0
その他	1	20.0

(N=5 複数回答)

5 山口県動物愛護センターについて

Q 2 3 あなたは、山口県動物愛護センター（所在地：山口市陶）を知っていますか。また、あなたやあなたの家族が、山口県動物愛護センターを利用したことがありますか。（1つのみ）

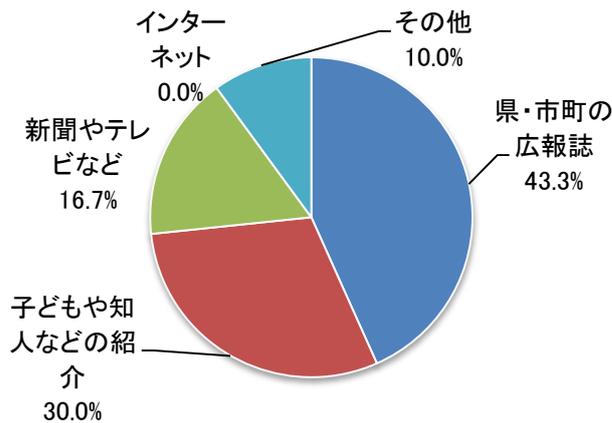


選択肢	人数	%
知っており、利用したことがある	2	2.2
知っているが、利用したことはない	28	31.1
知らない	60	66.7

(N=90)

【Q 2 3で「知っており、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」と答えた方に】

Q 2 4 あなたは、山口県動物愛護センターをどうして知りましたか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
県・市町の広報誌	13	43.3
子どもや知人などの紹介	9	30.0
新聞やテレビなど	5	16.7
インターネット	0	0.0
その他	3	10.0

(N=30)

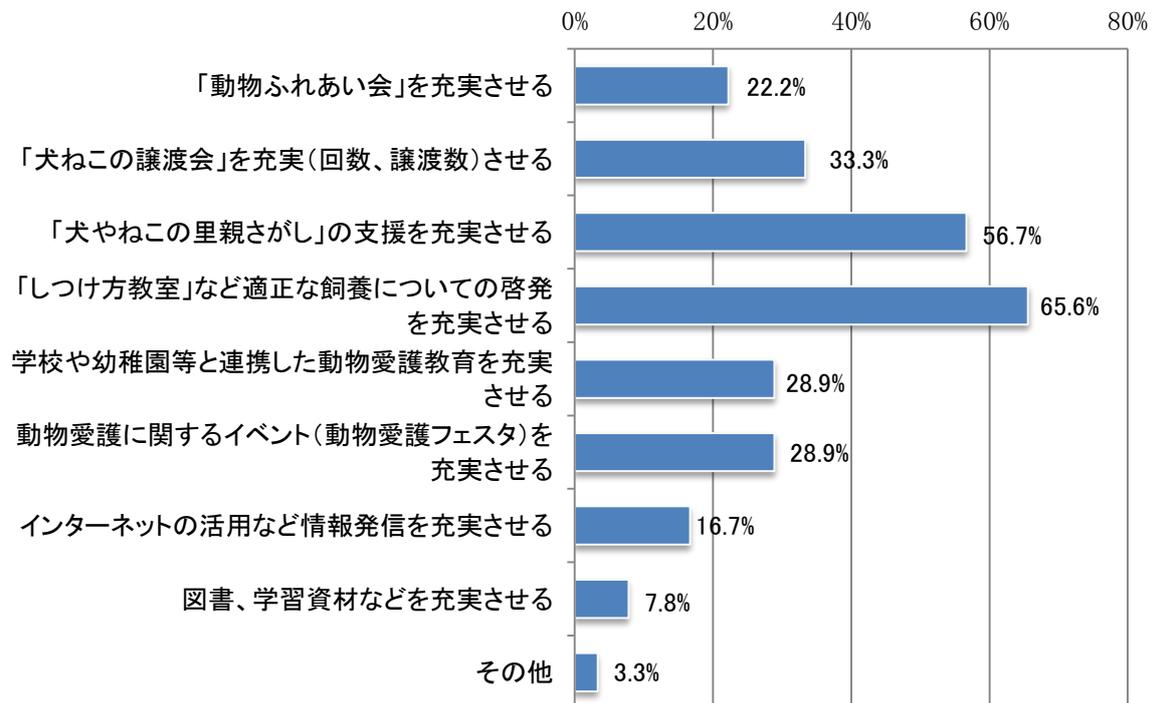
【Q 2 3で「知っており、利用したことがある」と答えた方に】

Q 2 5 どのようなとき利用されましたか。（いくつでも）

選択肢	人数	%
「動物愛護フェスタ(年1回動物愛護週間(9月)中に開催)」に参加した	0	0.0
「犬・ねこの譲渡会(月1回開催)」に参加した	2	100.0
「犬のしつけ方教室(月1回開催)」に参加した	0	0.0
「動物ふれあい会(学校、幼稚園などで実施する移動ふれあい会を含む)」に参加した	0	0.0
動物の飼い方や感染症予防などについて相談(電話相談を含む)した	0	0.0
動物に関して、学習(図書、展示、ビデオなど)した	0	0.0
犬・ねこなどと「ふれあい」をした	0	0.0
里親情報の掲示(インフォメーション、動物愛護センターホームページ)を利用した	1	50.0
その他	0	0.0

(N=2 複数回答)

Q 2 6 山口県動物愛護センターでは動物の愛護と適正な飼養に関する啓発活動を行っています。あなたは、今後、どのような取組を期待しますか。(3つまで)



選択肢	人数	%
「動物ふれあい会」を充実させる	20	22.2
「犬ねこの譲渡会」を充実(回数、譲渡数)させる	30	33.3
「犬やねこの里親さがし」の支援を充実させる	51	56.7
「しつけ方教室」など適正な飼養についての啓発を充実させる	59	65.6
学校や幼稚園等と連携した動物愛護教育を充実させる	26	28.9
動物愛護に関するイベント(動物愛護フェスタ)を充実させる	26	28.9
インターネットの活用など情報発信を充実させる	15	16.7
図書、学習資材などを充実させる	7	7.8
その他	3	3.3

(N=90 複数回答)